

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成28年3月1日

【会社名】 株式会社プロトコーポレーション

【英訳名】 PROTO CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 神谷 健司

【本店の所在の場所】 名古屋市中区葵一丁目23番14号

【電話番号】 052 (934) 2000

【事務連絡者氏名】 取締役 清水 茂代司

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中区葵一丁目23番14号

【電話番号】 052 (934) 2000

【事務連絡者氏名】 取締役 清水 茂代司

【縦覧に供する場所】 株式会社プロトコーポレーション 東京支店
(東京都文京区本郷二丁目22番2号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び連結子会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成28年3月1日

(2) 当該事象の内容

連結決算

当社連結子会社であるPROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.及び株式会社キングスオートの株式取得時、並びに台湾寶路多股份有限公司の事業譲受け時に計上したのれんにつきまして、各社の直近の業績動向等を踏まえ今後の回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能額としてのれん未償却残高の全額を減損損失として特別損失に計上する見込みであります。

PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.及び台湾寶路多股份有限公司においては不採算事業の見直しや他社とのアライアンス締結等、株式会社キングスオートにおいては輸出仕向地の拡大等、事業計画達成に向け取り組んできたものの、各社をとりまく直近の市場環境、競合動向に鑑み、現時点において当初立案した投資回収計画の達成は困難であると判断するに至り、平成28年3月期において上記損失を計上する見込みとなりました。

個別決算

上記損失を計上する見込みとなったことに伴い、平成28年3月期において、PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.及び台湾寶路多股份有限公司に対する投資について関係会社株式評価損を特別損失に計上する見込みであります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

連結決算

平成28年3月期において、減損損失2,329百万円を特別損失として計上する見込みであります。

個別決算

平成28年3月期において、関係会社株式評価損3,078百万円を特別損失として計上する見込みであります。なお、当該関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。